

氏 名：井出 由美
学位の種類：博士（看護学）
学位記番号：甲第185号
学位授与年月日：2020年3月10日
学位授与の要件：学位規則第4条第1項該当
論文審査委員：主査 小山田 恭子（聖路加国際大学教授）
副査 小林 京子（長崎大学大学院教授）
副査 堀内 成子（聖路加国際大学教授）
副査 増田 千鶴子（昭和大学統括看護部長）

論文題目：NICUの新人看護師を対象としたTransition支援プログラムの開発と
実用化研究

博士論文審査結果

井出氏の研究は、NICUに配属された新人看護師が新生児医療に必要な基礎的知識・技術・態度の獲得と、臨床へのスムーズな適応を目指したTransition支援プログラムの効果と実用化の可能性を明らかにすることを目的としたImplementation researchであった。

プログラムを構築するために2つの質問紙調査及びデルファイ調査を行い、根拠に基づく介入プログラムを作成した。A病院において4月から4か月間、8名の新人看護師を対象にOJTとOffJTを組み合わせたプログラムを実施し、プログラムが教育体制の改善や新人看護師の不安軽減、実践能力の向上に影響を及ぼすことを確認した。

審査では「プログラム」「プロジェクト」「Transition」等の重要概念の定義が不明確であることや、図表が不完全であるため、結果や考察内容の妥当性が判断困難である点、概念モデルと作業仮説との関係性が不明確な点、また考察が作業仮説の検証から始まっており、研究目的に合致した内容ではない点、そして、プロジェクトは人的資源が不足している場での活用が困難であることへの対応策の不足などが指摘された。

これらの指摘に対し、用語の定義や結果を追記し図表に必要な情報を追加した。また、考察を大幅に書き換え、仮説の検証が中心であったものからプロジェクトの新人や現場への影響に関する考察を中心とした内容に修正した。これにより、明解性、一貫性、論理性、説明力の高い論文となった。

また、修正の結果、Transition支援プログラムが新人の個別の成長を客観的なデータに基づき把握できるため、学修困難な新人の成長を支えやすいこと、OJTとOffJTの連携を促進しつつ新人を育てる現場の課題も把握できるなど新人教育に大きく貢献すること等、

プロジェクト実装の効果が明確となった。実行可能性についてはさらなる検討を要するが、具体的な対策が論じられ、指摘に対する修正が十全に行われたことを主査、副査全員が確認した。

以上により、本論文は、本学学位規程第 5 条に定める博士（看護学）の学位を授与することに値するものであり、申請者は看護学における研究活動を自立して行うことに必要な高度な研究能力と豊かな学識を有すると認め、論文審査ならびに最終試験に合格と判定する。